

Andor Information Center Network

AICネットワーク #124

CADSUPER 2019年度版

製品の幾何特性仕様(GPS)・・・ p.1

製品の幾何特性仕様(GPS)について

CADSUPER2019の新機能(GPS対応)・・・ p.3

幾何公差作図機能 データム作図機能の強化 寸法表現機能の強化 データムターゲット作図機能の作成

新機能・・・ p.8

表示要素図面作成コマンド プリンタ/出力の複数範囲指定コマンド プリンタ/プロッタ出力の複数範囲指定コマンド 割付コマンド起動コマンド ユーザー定義コマンド

新コマンド・・・ p.12

要素周上移動コマンド テーパー/勾配コマンド 部品エッジコマンド 2円間コマンド 軌跡認識機能

機能強化・・・ p.14

矩形コマンド トリム自動コマンド 溶接コマンド

*記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

A C Network

"AIC Network"は、アンドールのソフトウェア「CADSUPER」及び「周辺アプリケーション」を、より効果的に使っていただくための情報を提供し、 提案するメディアです。また、CAMへの展開をはじめとする、他ソフトへのスムーズで有効的なデータの活用法をサポートします。 さらには、CAD・CAM業界の動向をお知らせするとともに、ユーザー相互のコミュニケーション・メディアとして機能することも狙いとしています。 ユーザーが大いなる実りを結ぶために、対話を重視する情報発信基地、それが"AIC Network"です。

製品の幾何特性仕様(GPS)

近年、製造業のグローバル化が進み、海外でのものづくりが当たり前になっております。設計意図を正しく伝えるため、 2016 年度版の JIS 製図において、「製品の幾何特性仕様(GPS)ー寸法の公差表示方式」が公開されました。 CADSUPER 2019 では、GPS で規定されている形状の作図を容易にできるコマンド等を新たに搭載しました。 今回、GPS(Geometrical Product Specifications:製品の幾何特性仕様)についてご紹介します。

●製品の幾何特性仕様(GPS)について

日本工業規格が発表している内容では、従来「寸法」 と呼ばれていたものが「サイズ」と「位置」と呼ぶように なります。

「サイズ」には、直径や距離で表される「長さ」と円錐 の角度で示される「角度」がありますが、幾何特性仕 様では、長さに関するサイズのみを扱っています。

主な内容では、「寸法」「寸法公差」の代わりに「サイズ」「サイズ公差」という言葉を使うことを薦めるとともに、サイズ測定の細かな内容が規定されています。

表現方法	
従来の表現	➡▶ 新しい表現
(長さ、角度、位置の総称としての)寸法	寸法
(長さを意味する)寸法	サイズ
(長さに関する)寸法公差	サイズ公差
(位置に関する)寸法公差	位置度
寸法線	寸法線(変更なし)
寸法補助線	寸法補助線(変更なし)
理論寸法	理論寸法(変更なし)



実際の図面では、部品が三面図で表現され、 ①図面内では、縦線は、水平線(横線)に垂直で それぞれ直交する。

②寸法は、公差付きとする。

という暗黙の規定で描かれていました。

しかし、このような図面の場合、設計者の意図が、 部品作成者に正しく伝わらず、不具合が発生すること があります。

※海外に発注した場合などによく発生しています。



(1)旧来(寸法公差方式)で描いた図面

従来の描き方は、寸法線を描き、描いた寸法値に 公差を付けていく方法(寸法公差方式)で描きます。

寸法公差方式の図面(例)



(2)GPS に沿って描いた図面

GPS に沿った作図手順は、下記のような流れになり GPS 方式の図面(例) ます。

- ①絶対的な基準面から順に、データム(A,B,C…)を 配置します。
- ②これらの面に対する形状の条件を指定した 幾何公差を配置します。

③以前描かれていた寸法値は、「位置度」を示す
 矩形で囲まれた「理論的に正確な寸法」
 (TED:Theoretical Exact Dimension)の形で描きます。



GPS の作図で重要となるのが、基準平面/軸を 示す「データム」となります。 データムは、幾何記号が指定している情報が「どこを

チーダムは、幾何記号が指定している情報がしてき 基準に」指示しているものかを示すものです。

平面データムは、

①幾何公差域の位置と姿勢、向きを決める基準。
 ②同時に関連寸法の測定方法を決める基準。
 となります。







1. 幾何公差作図機能 <新機能>

幾何公差作図機能を強化し、複数段の記入などを 容易にできるようにしました。 また、作図される形状をデータ指定時にプレビュー表 示しますので、形状のイメージが付きやすくなります。

(操作方法)

①「**寸法**」ー「記号」ー「幾何公差」コマンドを実行 します。

②要素を指定せず、「確定(Enter)」を入力します。

対象要素(既存幾何記号、円など)を選択すると、指定した 情報を読み込んでダイアログが開き、すぐに編集すること ができます。

③必要な項目を入力し、「OK」をクリックします。

引出し先端数、引出し線数は、モード1,3で指定すること ができます。

ここがポイント!

CADSUPER 2019 で描いた幾何公差は、読み込みが できます。今まで変更があった場合には、削除して描き 直しましたが、編集できることでその手間が大幅に削減 できます。





④ 描画位置を指定します。(引出しがある場合は、
 a. 起点、b. 引出し点、c. 描画位置を指定します。)
 ⑤ 形状確認で「けい(Y)」をクリック」ます。

⑤形状確認で「はい(Y)」をクリックします。

2. データム作図機能の強化

データムを円・円弧上に配置できるようになりました。 また、寸法引出線にも配置できるようになりました。

A. サイズ形状への指示

(操作方法)

- ①「**寸法**」ー「記号」ー「データム」コマンドを実行 します。
- ②データム指示文字を入力します。
- 今回は、A「Enter」を入力します。)
- ③コマンドモード5「幾何特性仕様」を選択します。

④ターゲットの円・円弧を選択します。

(1)形状A

⑤引出し線上に配置しますか?で「**いいえ(N)**」を選択 します。

⑥配置位置を指定します。

(2)形状 B

⑤引出し線上に配置しますか?で「はい(Y)」を選択 します。

⑥中間点、a. 引出し位置、b. 配置位置を指定 します。

B. 軸形体への指示方向追加

(操作方法)

- ①「**寸法**」ー「記号」ー「データム」コマンドを実行 します。
- ②データム指示文字を入力します。
 (今回は、A「Enter」を入力します。)
 ③コマンドモード5「幾何特性仕様」を選択します。

④ターゲットの要素1・要素2を選択します。

(1)形状A

- ⑤形状を確認してください で「はい(Y)」を選択 します。
- ⑥線端位置を指定します。
- ⑦配置位置を指定します。

(2)形状 B

⑤形状を確認してください で「いいえ(N)」を選択します。
 ⑥線端位置を指定します。
 ⑦配置位置を指定します。

ここがポイント!

軸/中心平面への設定であり、この指定の中心が データム指示位置であることを示します。













C. 表面形状への指示方法追加

(操作方法)

- ①「**寸法」**--「**記号**」--「**データム**」コマンドを実行 します。 ②データム指示文字を入力します。
- (今回は、A「Enter」を入力します。)
- ③コマンドモード5「幾何特性仕様」を選択します。
- ④領域を指定します。
- ⑤中間点、a. 引出し位置、b. 配置位置 を 指定します。

「ユーザープロパティ設定」--「寸法・文字」タブページの データム記号線端の形状で切り替えができます。



▶ 自動(長ざ)

30

1,112桁

3. 寸法表現機能の強化

A. 作図

理論的に正確な寸法を表す記号TED(Theoretically Exact Dimension の略)の作図に対応しました。

(操作方法) 直列寸法の記入例
①「寸法」-「長さ」-「直列」コマンドを実行します。
②コマンドモード1「半自動」を選択します。
③端点1、端点2を指定します。
④描く位置を指定します。

⑤形状の確認で、Tキーを押します。

⑤ 形状を確認してください(はい(Y)/いいえ(N)/直径記号(@)/公差番号/参考寸法(K) / T E D (T))

⑥「はい(Y)」を選択します。

B. 編集

従来の寸法文字編集に加えて、公差1,2,3の設定、 TED、参考寸法の切替を選択できます。

(操作方法)

①「**寸法**」ー「**寸法値**」を実行します。 ②コマンドモード1「TED」を選択します。 ③記号を付加する寸法値を選択します。

C. 寸法特殊文字作図

文字修正機能で寸法特殊文字を追記編集できる 機能を搭載しました。

(操作方法)

①「**寸法」**--「**寸法値**」を実行します。 ②コマンドモード1「**文字編集**」を選択します。 ③寸法値を選択します。





2

』坐自動

口両側

④[▶]ボタンをクリックします。 ⑤リストから該当の形状を選択します。



⑥「確定(Enter)」を入力します。



4. データムターゲット作図機能の作成

データムを設定するために、加工、測定および検査 用の装置、器具などに接触させる対象物上の点、線 または限定した領域を示すデータムターゲット形状の 作図に対応しました。

(操作方法)

(1)「寸法」--「記号」--「データムターゲット」を実行 します。

(1)位置

②コマンドモード1「指定しない」を選択します。 ③始点を指定します。 ④「確定(Enter)」を入力します。 ⑤データム指示文字記号を入力します。 ⑥描く位置を指定します。

(2)線分

2コマンドモード1「指定しない」を選択します。 ③始点を指定します。 ④始点2を指定します。 ⑤データム指示文字記号を入力します。 ⑥描く位置を指定します。

(3)長方形

②コマンドモード1「長方形」を選択します。 ③対角点1を指定します。 ④対角点2を指定します。 ⑤データム指示文字記号を入力します。 ⑥描く位置を指定します。

ここがポイント!

補足事項がデータムターゲットのバルーンに入らない場合 は、引出して描画することができます。



(2) ×指定しない 「1

入力

1,112桁

□ 長方形

x

~ 🕺 🖩 🧐









1,112桁

2 ■長方形 🗖 長方形 コンソールパネル 入力 補足事項 (5) (20×30) ~ ≰ ≣ 🍫

データム指示文字



⑦補足事項が枠のサイズを超えました。引出しを 行いますか で「はい(Y)」を選択します。

[補足事項が枠のサイズを超えました、引出しを行いますか (はい(Y)/いいえ(N))]

⑧引出し位置を指定します。⑨形状確認で、「はい(Y)」を選択します。

(4)円

②コマンドモード1「円」を選択します。
③中心点を指定します。
④通過点を指定します。
⑤データム指示文字記号を入力します。
⑥描く位置を指定します。
⑦形状確認で、「はい(Y)」を選択します。





(5)領域変更

②コマンドモード1「領域変更」を選択します。
 ③データムターゲット領域枠を指定します。
 ④変更後の位置を指定します。

ここがポイント! 変更すると、寸法も自動的に更新されます。

注意点!

穴追加した場合は、領域変更はできません。

(6)穴追加

a. 円の穴追加の場合

 ②コマンドモード1「穴追加」、コマンドモード3「円」を 選択します。
 ③データムターゲットを指定します。
 ④中心点を指定します。

- ⑤通過点を指定します。

b. 長方形の穴追加の場合

②コマンドモード1「穴追加」、

コマンドモード3「**長方形**」を選択します。 ③データムターゲットを指定します。 ④対角点1を指定します。 ⑤対角点2を指定します。







新機能

■[ファイル]ー[表示要素図面作成]コマンド カレント図面の、休眠レイヤ以外の表示要素のみで 新規図面を作成する機能を搭載しました。 新規図面を任意名で保存することで、表示要素のみ の図面を新たに登録することができます。

ツールバー、キー割付、ポップアップメニューへの設定が 可能です。 コマンド定義: 種類「ファイル」ー「表示要素図面作成」コマンド

注意点!

標準メニューへの割付は、ありません。 (アイコンのみの提供)

(操作方法)

①図面でコピー不要なレイヤを「休眠」に設定します。 ②「表示要素図面作成」コマンドを実行します。







■[ファイル]ー[プリンタ出力]ー[複数範囲指定]
コックト 作図した用紙サイズに対して、出力図面の用紙
サイズを指定することで、自動的に分割範囲を算出し
登録する機能を搭載しました。

(操作方法)

- ①「ファイル」ー「プリンタ出力」ー「複数範囲指定」を 実行します。
- ②コマンドモード4:「自動分割」を選択します。

2 1 自動分割 💦 A3 □横 口なし

③出力用紙サイズ、用紙重複幅を入力し、「OK」を クリックします。

(今回は、用紙サイズ:A4、用紙重複幅:0mm)

④よろしいですか で「はい(Y)」を入力します。 ⑤印刷するプリンタなどを指定し、「OK」をクリック します。











ブリンタ印刷 - プリンタ情報 - プリンタ名称(P) - 用紙サイズ(E) - 印字方向(0)	DocuCentre-V C3376 一次回、このプリンジを使用する(W) A4 (210x37mm) ① 詳 ● 1#	✓ 設定(S) ✓ : 210×297mm	× のK キャンセル ヘルレゴ(H)	注意 複数 (50	【 点! 【範囲選択 を超える分	の登録 う割はで	数は、最ナ きませんの	て 50 範囲 のでご注	団です。 「意ください。)	
出力医面情報 ファイル名 領域長 X Y: 用紙サイズ: 出力設定1 図面回転 ④ f 総尺: ④ f 出力位置: 茶 Y:				日初期 田力 する する する する	選択 長さX 297.0 297.0 297.0 297.0	長さY 210.0 210.0 210.0 210.0	基準点 0.0, 0.0 0.0, 210.0 297.0, 0.0 297.0, 210.0	図面回転 なし なし なし なし		
出力設定2 2 色-線幅対応(2) - 色-出力順対応(- 院定表示利用(g)		レイな物数を連め少 ダモノフロに取扱 線幅度重な(2) 線端隔尺無功(2) ダートッポ出力(5) 違い消しをハーフトーンで出	出力14代数定() 矢印長数定() 円強助定(à) ケ(g) En朝範囲選択		分割範囲 複数範囲 登録される	の演算 選択に ます。	が行われ 自動的に	ı. -	自己還。4.18元 第6日編12 將印除 第6日編42	OK キャンセル ヘルブ 範囲保存

■[ファイル]-[プリンタ出力]/[プロッタ出力] -[複数範囲指定]コマンド

印刷範囲指定後、範囲情報をファイルに登録及び読 み込む機能を搭載しました。

(操作方法)

- ①「**ファイル**」ー「プリンタ出力」ー「複数範囲指定」を 実行します。
- ②図面の出力範囲を指定します。
- ③「印刷範囲選択」をクリックします。

A. 登録

現在の複数範囲出カ用の情報を、ファイル名を付け て保存する機能です。

④「範囲保存」をクリックします。
 ⑤定義名を入力し、「OK」をクリックします。
 (今回は、「分割A」と入力します。)

ファイルは、CADSUPER のユーザーフォルダに保存されます。 例: A4 分割.sxa (C:¥Users¥ログインユーザー¥AppData¥Local¥ANDOR ¥CADSUPER 2019¥Setting 内)

B. 読み込み

CADSUPER のユーザーフォルダに存在する複数範 囲出力定義のファイルを読み込む機能です。

- ④「範囲読込」をクリックします。
- ⑤定義ファイルを選択します。
- ⑥「追加する」か「置き換える」かを選択し、「OK」を クリックします。



	長さ X	長さ Y	基準点	⊠īn⊡≢z	
する	297.0	210.0	0.0, 0.0	ねし	
する	297.0	210.0	0.0, 210.0	なし	
する	297.0	210.0	297.0, 0.0	なし	া চান
する	297.0	210.0	297.0, 210.0	なし	
					Li L
					-
					27 00 H 24 min
					配直息設定
					範囲確認 キ
					6 K20 .
					HURK



「出力する設定の印刷範囲のみ保存する」にチェックを入れる と印刷範囲リストの出力列が「する」のものだけファイルに 保存されます。

ここがポイント!

保存先データは、設定情報ユーティリティの環境バックアップ 機能でバックアップされます。



■「割付コマンド起動」コマンド

コマンド定義でコマンド起動名を定義し、コマンド起動 名で起動できる機能を搭載しました。

ここがポイント!

キー割付では、キーに割付できる数に限りがありましたが、 コマンド起動名機能で多くのコマンド実行が可能となります。

(操作方法)

①「設定」-「コマンド定義」を実行します。

A. コマンド起動名の定義

各コマンドに任意の割付文字列(アルファベット名)を 割り付けします。

(操作方法)

②割付したいコマンドの割付文字列欄をクリックし、ア ルファベット名を入力します。

③「OK」をクリックします。

B.「割付コマンド起動」コマンド

コマンド起動名で起動する機能が追加されました。

従来のキー割付とは別で、コマンド起動名を入力する ダイアログを起動するコマンドとなります。

(操作方法)

- ②「キー割付」タブー「Home」を選択します。 今回は、コマンドを「Home」キーに割付します。
- ③種類「キーボード」、コマンド「割付コマンド起動」を 選択し、「登録」をクリックします。
 ④「OK」をクリックします。

C. コマンド起動

「コマンド名(アルファベット)」+「Enter」で、コマンドが 起動されます。

(操作方法)

- ①「Home」キーを押します。
- ②「コマンド名」を入力します。
- 今回は、「open」と入力します。

③「OK」をクリックします。

■ユーザー定義コマンド

ユーザー定義コマンドを「コマンドの追加」「コマンドの 配置」の2機能に分け、新たに「コマンドの削除」機能 を搭載しました。

ここがポイント! ユーザー登録で定義されたコマンドの整理等が簡単に行える ようになります。

(操作方法)

①「設定」--「コマンド定義」を実行します。



注意点! ・大文字/小文字は、判定されません。



「開く」コマンドが実行され、「開く」コマンドのダイアログ 画面が表示されます。



A. コマンド追加

ユーザー定義に任意のコマンドを作成し、追加登録 することができます。

- (操作方法)
- ②種類「ユーザー定義」を選択します。
- ③「追加」をクリックします。
- ④アイコンを選択します。
- ⑤コマンド種類を選択し、コマンド名称、
- モジュール名、説明を入力します。
- ⑥「OK」をクリックします。





B. コマンド配置

ユーザー定義に登録されたコマンド(アイコン)をドラ ッグ&ドロップで配置することができます。

(操作方法)

- ②種類「ユーザー定義」を選択します。
- ③配置したいコマンドを選択し、ドラッグ&ドロップで 配置します。

C. コマンド削除

ユーザー定義に登録されたコマンド(アイコン)を削除 することができます。

(操作方法) ②種類「**ユーザー定義**」を選択します。

(1)削除 操作1

③削除したいコマンドを選択します。 ④「**削除**」をクリックします。 ⑤削除しますか?で「はい(Y)」をクリックします。

(2)削除 操作2

③削除したいコマンドを選択します。
 ④バケツの絵までドラッグ&ドロップします。
 ⑤削除しますか?で「はい(Y)」をクリックします。







新コマンド

■[編集]ー[移動]ー[要素周上移動]コマンド [複写]の[要素周上配置]コマンドと同様に、指定 要素群を周要素上の任意位置に移動する機能を 搭載しました。

(操作方法)

(1)「編集」-「移動」-「要素周上移動」を実行します。
 (2)移動対象要素を認識(グループ認識)します。
 (3)「確定(Enter)」します。
 (4)基準点を指定します。
 (5)周要素を指定(ループ認識)します。
 (6)「確定(Enter)」します。

⑦配置位置を指定/移動距離を入力します。

■[寸法]--[記号]--[テーパー/勾配]コマンド 引出し線に記号形状および、比率を記載した形状を 描く機能を搭載しました。

- (操作方法)
- ①「**寸法**」-「記号」-「テーパー/勾配」を実行 します。
- (1)テーパー ②コマンドモード1「テーパー」を選択します。

(2)	🛃 自動	⊪∎: 区切り	1,112桁
-----	------	----------------	--------

③軸線を指定します。
 ④配置斜辺を指定します。
 ⑤引出し点を指定します。



(2)勾配

②コマンドモード1「勾配」を選択します。

2 ➡ 勾配 ➡ 自動 🛯 :区切り Ц 2桁

- ③軸線を指定します。④配置斜辺を指定します。
- ⑤引出し点を指定します。

ここがポイント!

指定形状を周要素上で簡単に動かすことができ、非常に 便利です。



テーパー	ー:引出し線の両側に傾斜した記号と比率を記入
勾配	:引出し線の片側に傾斜した記号と比率を記入





- ■[寸法]-[記号]-[部品エッジ]コマンド 形状のエッジ位置に描画する「部品エッジ」記号を配 置できる機能を搭載しました。
 - (操作方法)
 ①「**寸法**」-「記号」-「部品エッジ」を実行します。
 ②形状に必要な情報を設定します。
 ③「OK」をクリックします。
 ④始点を指定します。
 ⑤描く位置を指定します。

ここがポイント! 一括指示の場合、配置位置を 指定して簡単に描けます。 (引出しの指定はありません)

+0.5-0.2

■[寸法]--[長さ]--[2円間]コマンド

同心2円弧間に対して、補助線付きの長さ寸法を 作図する機能を搭載しました。 平行線間の場合は、現在の直列寸法と同じように 描きますが、2同心円弧間に作図する場合は、指定 円弧に沿った補助線を引き、寸法線を作図します。

(操作方法)

①「**寸法**」ー「**長さ**」ー「**2円間**」を実行します。
 ②2円弧を選択します。
 ③「**確定(Enter)**」します。
 ④寸法位置を指定します。

■軌跡認識機能

従来の認識は、矩形認識や多点認識ができましたが、 CADSUPER 2019 では、新たにマウスドラッグによる 軌跡認識を搭載しました。

ここがポイント!

組図などの細かい図面で、要素選択するのが簡単に なります。

(認識設定)

「ユーザープロパティ設定」 ー「全般2」タブページの 「軌跡認識」のチェックを 入れると有効となります。

ユーザー	ユーザープロパティ設定 [黒背景-2019-2]			
	CE-F		色	-14
全般	1 全般2	マウス	ファイル	スタイル
要	索·座標認識 —			
餫): (D):	10	🔹 ドット(1-	~99)
82	?識最大数(<u>M</u>):	50	≑ 個(1~	50)
]作図機能でハ	ッチング要求	紫を認識(<u>F</u>)	
]長さ寸法の計注	則点指定(自由点を対	麗択(<u>2</u>)
	-]長さ寸法作図	時、寸法師	点も 認識()	N)
ーゲル	7認識			
12	.識方法(G):	◉矩	形 〇割	点
]連続追加認識	1(7)		
]部分認識(<u>P</u>)			
		<u></u>	<u>>t ⊚t</u>	
] 軌跡認識 (🖲 5dot 🛛	🔿 10dot	🔿 20dot
栗	2点入刀: ☑[確)	É]/ニュー→	全認識(3)	





ここがポイント! この寸法を「寸法」ー「移動」で 移動する場合、円に沿った方向 に移動するようになります。





できます。 ■ 認識設定 × ☑ 単一要素(E) 線種マスク(L) 要素マスク(T) 色マスク(C) 線幅マスク(W) ✓点 ✓点 ✓用 ✓円 ✓府 ✓府 → 緑 小色 → 白 × → 青 ■ 暗い紫 ○ 仮告 ✓ 極太線 ✓ 太線 ✓ 細線 全選択(Q) 反転(Z) 全選択(E) 反転(B) 全選択(Y) 反転(U) 全選択(O) 反転(V) ☑ 集合要素(G) 毎形で切断する(K) ✓部品 ✓曲線 ✓塗潰し ✓ハッチング ✓その他 認識範囲(R): ●矩形の内側 ○矩形の外側 ○多角形の内側 □単一要素のマスクを共用(M) ✓部分認識(P) ○常時 ○左->右 ◎右->左 ☑ 寸法線(<u>D</u>) ☑ 軌跡認識(T) ≣¥緣圈(S)... ✓ 認識の解除を許可する(>() □投影図の隠れ線要素のみ認識(」) □集合要素の子要素認識() 集合要素の子要素をクリックで認識

認識設定でも「軌跡認識」のON/OFFの切り替えが

機能強化

■[作図]-[矩形]コマンド

矩形の作図位置決定方法として、基準点+配置方向 指定(JW-CAD の矩形作図のオペレーション)を搭載 しました。

ここがポイント!

配置方向指定時のマウス位置により、基準点に対しての 配置方向が指定できます。 矩形を配置する際に配置方向が簡単に変更できるので 非常に便利です。



①「作図」ー「矩形」を実行します。

②コマンドモード2「位置指定」を選択します。

③矩形サイズを入力します。

(今回は、「30, 20」と入力します。)

④基準点を指定します。

注意点!

配置点指定で、ドラッギング表示は矩形の中央に切り替わり ます。

⑤図形の配置方向を指定します。

数値による長さ指定だけでなく、対角指定の矩形に対しても 行えます。この場合、対角点1が「基準点」を兼ねた動きと なり、対角点2指定後、配置方向指定となります。

■[編集]-[トリム]-[自動]コマンド

今回搭載の軌跡認識機能を利用し、マウスでドラッグ 認識することで、連続でトリムを行える機能を搭載し ました。

(操作方法)

①「**編集」ー「トリム」ー「自動」**を実行します。 ②コマンドモード 1「**軌跡**」を選択します。 ③要素を指定します。

■[寸法]-[記号]-[溶接]コマンド

すみ肉溶接記号の基準点を変更する設定を追加対応しました。











AICネットワークご提供方法変更 連絡

この情報誌は、弊社ユーザー登録情報に基づいて送付しております。 お届け方法の変更をご希望の場合は、下記の内容をご記入の上、FAXを送信くださいますよう お願い申し上げます。

■AIC ネットワーク お届け方法の変更

	□ メール連絡希望	
ご希望方法に √ してください	Mailアドレス:	@
	□ 郵送希望	
会社名		
部署名		
ご担当者名		

メールアドレスは、インターネット使用環境のものをご使用ください。 アドレスご記入の際は、アルファベットの「O」と数字の「O」、アンダーバー「_」とハイフン「-」 の違いが分かるように、ご協力お願いいたします。

メールでご連絡いただく場合は、aicnetwork@andor.co.jpへ送信ください。

From Editor

まだまだ寒さが厳しいですが、このところ日が長く なったように思えます。

昨年の夏の甲子園は、史上初2度目の春夏連覇を 決めた大阪桐蔭と日本中を沸かせた金足農業の試 合が注目を集めました。みなさんは夏の甲子園とは 別に春にも甲子園があるのをご存知でしょうか?

春の甲子園は夏の甲子園よりも知名度は低いですが、 夏の甲子園よりも注目している人は、少なくはありま せん。

大きな違いとしては、夏の甲子園大会が各都道府 県の大会で勝ち上がった高校が自動的に1校ずつ出 場するのに対して、春の選抜は前年の秋の各地区大 会の成績を元に選抜された高校が出場します。

選抜ですので夏とは異なり1都道府県から複数校が出場 したり、逆に1校も出場しないということもあります。 2019年は例年通り、各地区枠28校と特別枠(21世紀枠 3校・明治神宮大会優勝校)で32校の出場枠が用意され ており、出場校もすでに決定しています。

組み合わせ抽選会は3月15日に行われ、23日からの12日 間で開催されます。選抜大会なので全国から選りすぐりの 高校が選出されています。そのため、夏の甲子園よりも初 戦からレベルの高い試合が繰り広げられます。

夏の甲子園だけでなく春の甲子園も見てみてはいかが でしょうか?

> アンドール株式会社 AIC Network編集部

〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町2-5-1 三宮ハートビル tel.(078)325-8181 Fax.(078)392-9811 2019年2月20日発行No.124

